

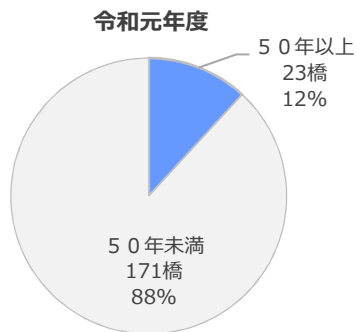
■ 計画概要

湖南省が管理する橋梁は197橋（令和元年時点）であり、管理橋梁すべてを計画対象橋梁とします。

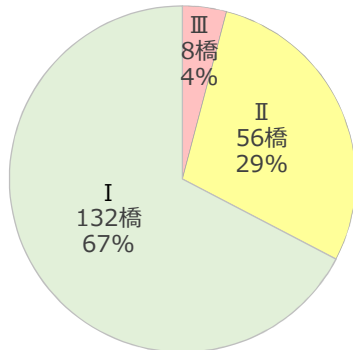
計画期間は、2019年（令和元年度）から2023年（令和5年度）とし、5年間の定期点検結果を踏まえ、見直しを行うことを基本とします。

■ 計画の目的

架設年度がわかる194橋（架設橋梁197橋）のうち、建設後50年を経過する橋梁は23橋（12%）です。20年後には149橋（77%）に増加します。これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が増大することが懸念されます。

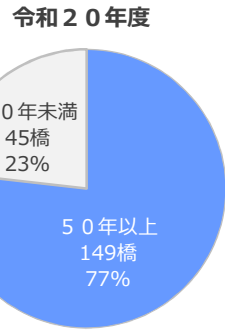


健全性の判定区分の割合



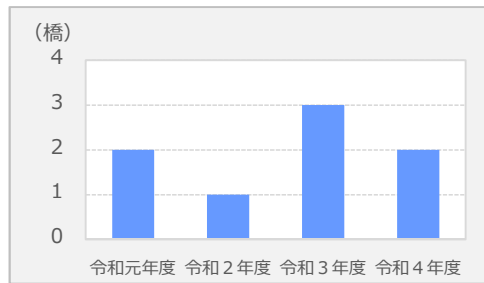
■ 費用削減の数値目標

予防保全型の維持管理に着手することにより、50年間で130億円（対症療法型：157億円、予防保全型：27億円）の維持管理費が縮減され、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性を確保します。



修繕措置の着手状況

令和元年度の計画策定後、計画の優先順位に基づき、健全度Ⅲの8橋の修繕工事を実施しています。



① 点検

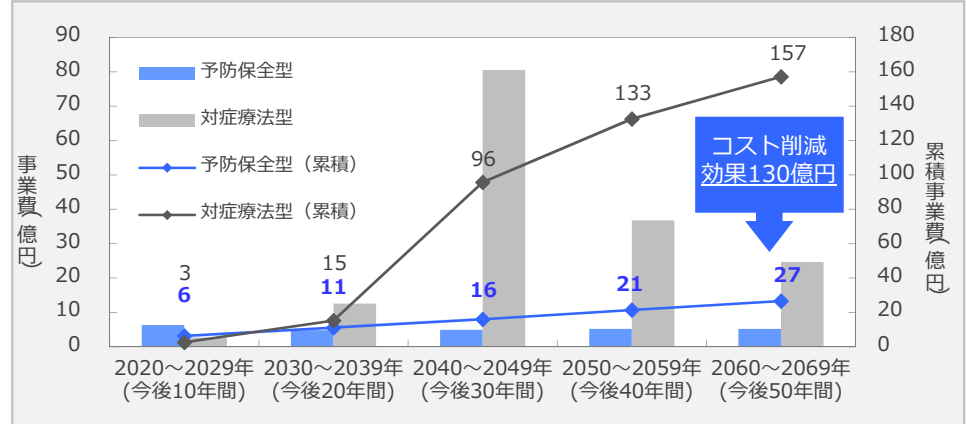
3巡目の定期点検からすべての橋梁で新技術の活用を検討します。特に2巡目の定期点検で橋梁点検車を使用した橋梁（健全度Ⅰ判定の橋梁）は新技術の活用を重点的に検討し、2028年（令和10年度）までの5年間で点検費のコスト削減を目指します。

② 集約・撤去

利用頻度が低く、迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、2028年（令和10年度）までに集約化・撤去の検討を行い、維持管理費削減を目指します。

■ 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する197橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が157億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が27億円となり、コスト削減効果は130億円と予想されます。また、損傷に起因する通行制限などが減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。



■ 優先順位の考え方

対策費用の総額が計算年度の予算額を上回る場合は、優先度評価を行い、優先順位の高い順に対策を実施します。優先度評価は、「総合評価値と諸元重要度の関係」をもとに行います。

■ 計画期間における老朽化対策の基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理の基本方針

- 健全度の把握の基本的な方針
定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握します。
- 日常的な維持管理に関する基本的な方針
パトロール車による走行面の変状について点検を行います。

橋梁長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の削減の基本的な方針

計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを削減します。